



地域全体で子どもたちの安全を守る

前田 索文 議員

地域が一体となつた通学路の防犯対策

一 警報音を発しやすい防犯ブザーの配布を検討――

問 三重県鈴鹿市で小学生が殺害される事件が起きているが、本市においては登下校時にどのような防犯対策を行っているか。

答 可燃ごみは15世帯から20世帯を自安に路線上の指定場所で収集、資源ごみはステーション方式により30世帯を自安に集

のうち単身世帯の対象者が約190人、同じく障害者のうち単身世帯の対象者が約160人で、合計約350人と見込まれる。

問 可燃ごみ、資源ごみの収集体制と収集現場の状況はどうなっているか。

答 可燃ごみは15世帯から20世帯を自安に路線上の指定場所で収集、資源ごみはステーション方式により30世帯を自安に集

のうち単身世帯の対象者が約190人、同じく障害者のうち単身世帯の対象者が約160人で、合計約350人と見込まれる。

問 可燃ごみ、資源ごみの収

者数はどれくらいか。

答 要介護1以上の高齢者のうち単身世帯の対象者が約190人、同じく障害者のうち単身世帯の対象者が約160人で、合計約350人と見込まれる。

問 収集現場では、収集日や分別の間違い、指定袋以外でのごみ出し等の場合には、収集できる理由を明記したシールを貼付して啓発指導を行っている。

問 ごみ出しが困難な単身世帯の高齢者や障害者に対して、安否確認の意味も含めて、ごみ収集支援の事業を導入する考えはないか。

答 ひとり暮らしの高齢者や体の不自由な方々に対する生活支援として、また安否確認の面からも個別収集について関係各課と協議、調整を図り、実施に向け検討していく。

新海 真規 議員

災害時における体制づくり



一隣接市や県と連携して、水道水の迅速な供給に取り組む――

問 災害時に安全な水を確保するため、他市及び県管水道との連携などのようになっているか。

答 隣接市との緊急連絡管を5箇所、また、県送水管に接続する支援連絡管1箇所と給水支

する、学校安全緊急情報共有化サービスの活用状況はどうか。

答 県教育委員会の指導のもと、近隣市町と情報を共有・発信し合い、収集した情報についても発生日時や場所、被疑者の移動手段等精査し、各学校や関

白土 美恵子 議員

高齢者や障害者に対するごみ収集の支援を――生活支援と安否確認の両面から実施に向けて検討――

豊田市では、要介護1以上の高齢者や障害者手帳等の所有者で単身世帯の方のごみ出しに対して、ふれあい収集という事業を開始するが、刈谷市で同様の事業を実施する場合の対象者数はどれくらいか。

答 要介護1以上の高齢者のうち単身世帯の対象者が約190人、同じく障害者のうち単身世帯の対象者が約160人で、合計約350人と見込まれる。

問 収集現場では、収集日や分別の間違い、指定袋以外でのごみ出し等の場合には、収集できる理由を明記したシールを貼付して啓発指導を行っている。

問 ごみ出しが困難な単身世帯の高齢者や障害者に対して、安否確認の意味も含めて、ごみ収集支援の事業を導入する考えはないか。

答 ひとり暮らしの高齢者や体の不自由な方々に対する生活支援として、また安否確認の面からも個別収集について関係各課と協議、調整を図り、実施に向け検討していく。

係機関、市民等に配信している。

問 富士松中学では、「自分の命は自分で守る、家族の命は家族で守る」を宣言葉に、学校、保護者、地域が一体となつて子どもを守っている。行政としてどうも守っている。行政として

も、現実的に役立つと思われる防犯ブザーを配付してはどうか。

答 耐久性や電池の消耗などを求められることから、隣接市と意見調整を図りながら前向きに検討している。

問 11月に豊田市が、地震による断水を想定し県水道管と接続した給水訓練を行ったとの報道がされたが、本市でも同様の訓練が可能であるか。

答 可能と考えており、県や関係機関と協議を行いながら実施に向け検討していく。

問 市職員は、災害時においても市民に役立つ職員であつてほしい。現在、117名が普通救命講習を受け講しているとのことだが、全職員に受講を義務付ける考えはないか。

答 可能と考えており、県や

関係機関と協議を行いながら実施に取り組むことは大切であると考え、健康日本21カリキュラムで、家族そろつて楽しく健康づくりを進めることを支援している。また、小中学校では、保健室よりも学校だよりなどで、児童生徒や保護者向けに早寝早起き朝ごはんの大切さを伝え、保護者の協力を得て、健康づくりの推進に努めている。

問 剖谷ふれあいカレッジの出前講座に早寝早起き朝ごはんの国民運動推進の講座を追加する考えはないか。

答 早寝早起き朝ごはんはん国民運動を地域に浸透させていくという重要なテーマを考慮すると、出前講座に追加し、健康づくりのより一層の推進を図ることを検討していく。

◆ 一年で一番寒い季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年からの米国に端を発した金融危機の難局に直面にし、その影響は雇用・消費・家計などに暗い影を落としています。今年こそは社会・家族・自分も含め希望が持てる一年としていたいものです。

◆ 二十一世紀に入り九年目。二十一世紀は「女性の時代」といわれますが、昨年は女性の活躍が目立つ一年でした。五輪では柔道、レスリング、ソフトボールなど胸のすぐ勝ち方で日本中を沸かしてくれました。日本で二人目の女性宇宙飛行士の飛行日程も確定。起業家を含めると女性の活躍ぶりはかなりの数になるそうです。頼もしいですね。

◆ かりや市議会だより九十八号

編集後記

は、昨年の十二月定期会の内容を掲載しています。本会議では第三子以降の保育料無料化などの議案が慎重に審議されました。保育料の無料化は四月から実施されます。今後も子育て施策に手厚い刈谷市でありたいですね。

一般質問では十三人の議員が三十項目の質問をし、当局の考え方をただしました。三月定期会からは、この一般質問に一問一答方式が導入され、よりわかりやすくなります。この模様はケーブルテレビのキャッチで放映されています。また、市議会ホームページからもご覧いただけます。



いざという時に備え訓練を実施

答 衣浦東部広域連合が実施するこの講習は個人による申込のみとなっており、今後も引き続き多くの職員が受講するよう、メール等を活用してPRしていく。